

安全報告書

2013



 養老鉄道株式会社

1. お客様をはじめ地域の皆様へ

いつも養老鉄道をご利用いただき誠にありがとうございます。

これまで、沿線自治体、地域の有志団体をはじめ地元住民の皆様、沿線の事業者・学校の皆様から、イベントの開催などによる乗車の促進やボランティア活動による駅の美化など、養老線活性化のために様々なご支援を賜りました。有難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、会社方針の第一に「安全輸送の完遂」を掲げ、役員と従業員が一丸となって安全輸送に努めております。この安全報告書は、鉄道事業法に基づき、当社における輸送の安全確保のための取り組みや実態を取りまとめ、公表するものです。今後も無事故を完遂し、地域の皆さまから信頼される鉄道であり続けるため、全力で頑張っております。

平成25年8月

養老鉄道株式会社

代表取締役社長 田淵 裕久

2. 安全方針（輸送の安全確保に関する基本的な考え方）

当社では、お客様や地域の皆様の安全・安心を確保し、信頼される企業として社会の発展に貢献するため、法令を遵守し事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、鉄道施設、車両および社員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針、その他事業活動に関する基本的な方針を次のように定め、社員に周知・徹底しております。

安全方針

- (1) 事業活動においては、お客様の安全確保を第一に考えます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 安全確保のため、日頃から危険要素の排除に努めます。
- (4) 常に安全意識を高く持ち、社会の変化に対応しつつ確固とした体制をめざします。
- (5) 万が一事故・災害が発生した場合には、お客様の救護を最優先に行い、他の機関と連携協力を密にし、被害の拡大防止、適切な情報開示、早期復旧に全力を挙げます。
- (6) 安全に関する教育、訓練、研修等を適時適切に実施します。

3. 平成25年度の安全重点施策

(1) 安全目標

安全方針に基づき、お客様の安全を最優先とするため、

- ・鉄道運転事故、インシデントを発生させない。
- ・当社責任による輸送障害、お客様の死傷事故を発生させない。

を目標として努力いたします。

(2) 取組計画

安全目標を達成するため、以下の取組を実行します。

① 「事故の芽」情報に基づく事故防止対策の推進

- ・ヒヤリハット、社員の気付きを活用した対策の実施

②教育の充実

- ・安全管理体制に関する教育の充実
- ・知識、技能向上のための訓練内容の充実
- ・法令や企業倫理に関する教育の充実

③異例事態に対応する体制の見直し

- ・異例事態を想定した訓練の充実
- ・大規模災害への備えと見直し

4. 安全確保のための具体的な取り組み

(1) 経営トップによる職場巡視

経営トップである社長と輸送の安全確保に関する業務を統括する安全統括管理者は、積極的に現業職場を巡視して係員との意見交換を行うとともに、安全に対する取り組み状況を確認しています。

(2) 係員の教育訓練

年間指導計画に基づき、知識・技能の維持向上を図るため、乗務員および駅係員を対象に実施しています。特に運転士については、監督者による添乗指導に努め、事故防止の基本である基本動作の励行と運転技能の向上を図っています。

(3) 緊急時対応訓練

当社の監督者および乗務員・駅係員のほか第三種鉄道事業者である近畿日本鉄道株式会社の施設、車両部門社員と合同で、大垣消防組合消防本部の協力を得て、地震及び列車火災発生時の対応訓練を実施いたしました。

(平成25年3月5日実施)



(4) 内部監査

当社では、平成19年10月に制定した「安全管理規程」に基づき、毎年1回安全管理体制の実施状況を確認するために内部監査を実施しております。報告の結果、改善が必要な点については安全目標に取り入れ、PDCAサイクルを機能させていきます。(平成25年2月20日実施)

(5) 設備

設備に関しては、第三種鉄道事業者である近畿日本鉄道株式会社での公表となります。

5. 平成24年度の事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

原因が踏切障害によるものが1件発生しました。

(2) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

原因が車両によるものが1件、鉄道施設によるものが2件、自然災害によるものが1件、鉄道外によるものが3件の、合計7件発生しました。

(3) インシデント（事故に至らない事故の兆候）

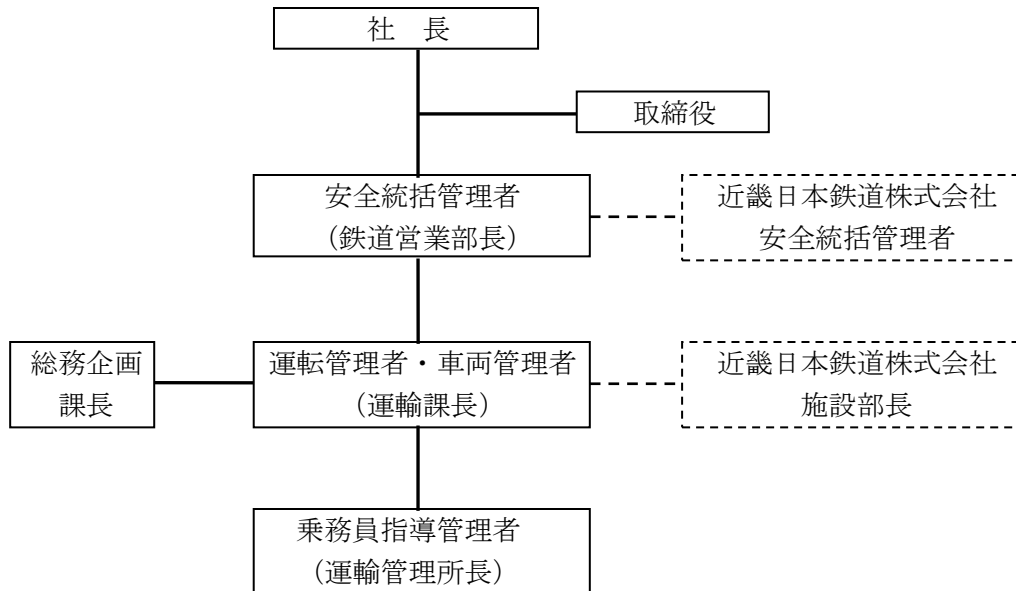
発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

ありませんでした。

6. 安全管理体制

当社の「安全管理規程」に基づき、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織体制の中で、安全統括管理者、運転管理者、その他の管理者等が、それぞれの責務を明確にしたうえ、安全確保のための役割を担っています。



7. お客様や地域の皆様との連携とお願い

(1) こども110番の駅

大垣駅では、「こども110番の駅」として地域の子供たちを守るための取り組みを行っております。子供が助けを求めてきたときは、社員が保護し、警察に通報するなどの対応をします。そのほかの社員が配置されている駅でも同じように対応します。

(2) 駅舎におけるいたずら防止のお願い

当社沿線の駅では、待合室のガラスが割られるなど、駅設備を破壊する等のいたずらが発生しています。このようないたずらは、ご利用いただくお客さまへのご迷惑となるだけでなく、ときには列車の運行に多大な影響を与えるおそれがあります。このような行為を見かけられたときは、当社または警察への連絡をしてくださいますようお願いいたします。

(3) 自転車の車内持ち込みについて

当社では、持ち込み料無料で車内に自転車をお持ち込みいただける「サイクルトレイン」を実施しています。対象となる列車や注意事項等の詳しい情報は、当社ホームページをご覧ください。

(4) 「お客さまの声」を受けて

当社では、ご利用のお客さまや沿線自治体等からのご意見やご要望を受け、できる限り改善できるよう努めております。また、災害や事故等により列車運行に多大な影響が生じる場合は、当社ホームページでご案内いたします。

今後も、お客さまのご意見・ご要望等を経営に反映させ安全の確保を図りたいと考えております。

8. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

【連絡先】 養老鉄道株式会社 鉄道営業部 総務企画課

〒503-0973 岐阜県大垣市木戸町910番地

TEL 0584 (78) 3400 FAX 0584 (78) 3499

月～金（祝日を除く） 9:00 ～ 18:00

※養老鉄道の時刻、運賃、サイクルトレイン等の情報はホームページをご覧ください。

養老鉄道ホームページ <http://www.yororailway.co.jp>